

令和3年2月秋田市議会定例会代表質問者順序

秋 水 会 熊 谷 重 隆

フロンティア秋田 小 林 一 夫

市民クラブ 花 田 清 美

共 産 党 佐 藤 純 子

公 明 党 石 塚 秀 博



1 市長の政治姿勢について

- (1) 穂積市政3期12年を振り返り、市長自身の総括はどうか、また、これまで取り組んできた成長戦略の成果はどうか
- (2) 4期目に向けて、今後の市政運営のビジョンをどのように描き、新たな公約として、どのような施策を盛り込むのか
- (3) 本市における新型コロナウイルス感染症対策と本市経済の活性化との両立について、市長の見解はどうか
- (4) 財政運営について
  - ア コロナ禍で大幅な税収減が見込まれる中、令和3年度当初予算をどのような考えに基づき編成したのか、また、同予算の特徴的な施策は何か
  - イ コロナ禍の長期化が想定される中で、中・長期的な財政運営をどのように考えているのか

2 次期秋田市総合計画について

- (1) 新型コロナウイルス感染症の収束が見通せない中で策定される同計画については、大幅な軌道修正が生じる事態も想定されるが、どのように考えているのか

3 本市のまちづくりについて

- (1) 中心市街地のまちづくりについて、今後どのように取り組んでいくのか
- (2) これまでのコンパクトシティを推進する方針と、今後のまちづくりのモデルとして取り組みたいとしている卸売市場を含む外旭川地区の整備について、改めて市長の認識はどうか

4 新スタジアム整備について

- (1) 令和元年9月にブラウブリッツ秋田の社長が2025年までにスタジア

ム整備を実現すると宣言していたが、県・市が把握した上での発言であったのか

(2) 新スタジアムの建設候補地は外旭川地区に決定したと受けとめてよいのか

(3) 新スタジアムの整備は、県・市・民間企業が三位一体となって緊密な連携を図った上で進めるべきと考えるがどうか

## 5 コロナ禍における地域経済対策等について

(1) 長引くコロナ禍で経営難となっている市内の中小企業及び小規模事業者に対し、新たに本市独自の支援を行うべきと思うがどうか

(2) 市内の中小企業及び小規模事業者の雇用維持を図るため、本市独自の支援策を講ずる考えはないか

(3) 消費喚起策として、幅広い業種で利用できる本市独自のプレミアムつき商品券を発行する考えはないか

## 6 市立秋田総合病院について

(1) 市は設置者として、クラスターの発生などによる病院経営への影響をどのように認識しているのか、また、国等からの補助の見通しはどうか

(2) コロナ禍の医療体制の課題として、一般患者に影響が出ないように、集中治療室及び陰圧室の整備が求められているが、その対応はどうか

(3) 感染症の感染拡大防止策及び積雪時の高齢者の通院状況にかんがみ、再診患者に対するオンラインによる診療体制を構築する考えはないか

(4) 同病院は、今後、PET-CTによるがん検診など、高度最先端治療を導入し、さらなる地域医療の充実を目指すべきと思うが、設置者としてどのように考えているのか

## 7 新型コロナウイルスワクチンの接種について

(1) 接種を円滑に遂行するための課題は何か、また、その課題に対しどのような方策を講じる考えなのか

(2) 接種は三密を回避した上で、どこでどのように行うのか、また、ワクチンの保管場所や接種後の医療廃棄物の処理についてどのように考えているのか

(3) 接種率向上に向けた取り組みはどうか

## 8 行政のデジタル化の推進について

(1) デジタル化推進に向けた取り組み状況及び課題はどうか

(2) 高齢者や障がい者などデジタルツールにふなれな方に対するサポート体制をどのように考えているのか

## 9 防災について

(1) コロナ禍における複合災害時の避難所の対応として、三密回避に対応した運営と要配慮者へのケアが肝要と考えるが、本市の現状はどうか

(2) 避難所でのトリアージやゾーニング等が記載された運営マニュアルを策定しているのか

(3) 夜間の総合防災訓練及び避難訓練について

ア 夜間の総合防災訓練は、関係機関との調整が必要とのことであるが、その後の取り組みはどうか

イ 町内会や自主防災組織等が行う夜間の避難訓練については、市で各町内会等に提案するとしていたが、その後、実施した町内会等はあるのか

## 10 農業施策について

(1) 農業経営への支援について

ア 大雪や暴風雪等による農業被害に対して、市においても支援するべきと思うがどうか

イ 収入減の一部を補てんできる収入保険の掛金の一部を助成する考えはないか

ウ 農業経営の法人化に対し、本市独自に初期投資等の支援をしては

どうか、また、法人化後も支援を継続するとともに、支援項目を必要に応じて拡充するべきと思うがどうか

(2) 農産物のブランドづくりと販売戦略について

ア 本市の農産物のブランド化に向け、どのような取り組みが効果的と考えているのか

イ 新品種米サキホコレの販売戦略について、市としてどのように考えているのか、また、同戦略は県と県内市町村が連携して検討すべきであり、県に積極的に働きかける必要があると思うがどうか

(3) 農業基盤整備を推進するため、相続未登記農地の活用に向けた支援を行う考えはないか

11 除排雪について

(1) 大雪時のバス路線の除排雪について

ア 大雪時の対応策について、事前に民間バス事業者との調整は行っていたのか、また、今回の全面運休時にバス事業者から連絡はあったのか

イ 今回の教訓を踏まえ、今後の大雪時におけるバス路線の除排雪をどのように考えているのか

(2) 生活道路の除排雪について

ア 除雪後の道路状況が悪い箇所もあることから、オペレーターの除雪技術の向上を図るため、育成・指導の徹底を委託業者に要請するべきと思うがどうか

イ 各地区の除雪状況について、地域情報員みずからが巡回して把握に努めるべきと思うがどうか

ウ 今冬において、いまだ除雪されていない地区もある中、一斉除雪きょうにもほぼ完了との報道がされていたが、広報においては市民感情に沿って慎重に行うべきと思うがどうか

エ 除排雪コールセンターの電話対応に多くの市民から苦情が寄せられていることから、見直すべきと思うがどうか

12 投票所における新型コロナウイルス感染症対策について

- (1) 投票所及び期日前投票所における同感染症対策をどう考えているのか、また、密集を避けるため、期日前投票所を増設してはどうか





## 1 新年度当初予算案について

- (1) 若者に魅力あるまちをいかに創っていくのか
- (2) 持続可能な社会の実現をいかに図っていくのか
- (3) 地域の活力をいかに高めていくのか
- (4) 人口減少対策における重点施策をいかに実施していくのか
- (5) 前年度に比べて大幅に見直ししたり、先送りや凍結した事業はあるのか
- (6) 歳出について
  - ア 補助金、委託料で大幅な見直しや削減をしたものはあるのか
  - イ 特別会計、公営企業会計及び地方独立行政法人への繰出金で大幅な見直しや削減をしたものはあるのか

## 2 外旭川地区における先端技術を活用したまちづくりのモデル地区の検討とイオン外旭川開発計画について

- (1) 同モデル地区は、卸売市場敷地と周辺の土地としているが、当該地には市街化調整区域が含まれるのか、また、含まれるとすれば、その土地を市街化区域に編入するのか
- (2) 当該地には、イオンタウン株式会社が以前より計画・提案している約35万平方メートルの土地が含まれるのか、また、含まれるとすれば、その土地を市街化区域に編入するのか
- (3) 一般的に市街化調整区域の見直しにはどれくらいの期間を要するのか
- (4) 市街化区域に編入した場合について
  - ア 卸売市場及び新スタジアムは建設できるのか
  - イ 当該計画にある、ショッピングなどのできるエンターテインメントゾーンを初めとする各ゾーンの建設は可能なのか
- (5) 民間事業者からの提案について、どのような内容であれば受け入れ、どのような内容であれば受け入れられないのか

(6) 市長は当該計画には賛成なのか、反対なのか

### 3 新型コロナウイルス感染症について

(1) 市立秋田総合病院への保健所の立ち入り調査の結果と指導及びその後の同病院の対応はどうか

(2) 新型コロナウイルスワクチン接種対策チームによる、これまでの検討内容と決定事項はどうか

(3) 誹謗中傷をなくすための市民への働きかけをどのように行っているのか

### 4 学校教育について

(1) タブレット端末機を使うことによって授業はどう変わるのか、また、そのための準備をどのように行っているのか

(2) オンライン授業が可能となるような家庭の通信環境をどのように整備するのか

(3) タブレット端末機使用の制限事項は何か

(4) 小学校高学年の教科担任制にどう取り組むのか

### 5 教師の多忙化解消について

(1) 多忙化解消に向けたこれまでの取り組みの成果と課題はどうか

(2) 部活動を担当する教師の現状及び多忙化解消への取り組みはどうか

(3) 精神的な原因による休職者の状況と復帰に向けての対応はどうか

### 6 商工業の振興について

(1) 秋田市中小企業振興指針に基づいた施策の状況及び課題はどうか

(2) 電子デバイス関連等の製造業やICT関連産業を初めとする企業誘致にどのように取り組んでいるのか

(3) 商工業や飲食、宿泊業などのサービス業への新型コロナウイルス感染症の影響及び今後の対応はどうか

(4) 新型コロナウイルス感染症関連の離職者への対策はどうか

## 7 農林水産業の振興について

- (1) 農林水産業の経営体の育成状況はどうか
- (2) 6次産業化による農業者所得の底上げ及び新たな雇用の創出について、どのように取り組んでいるのか
- (3) 耕作放棄地解消に向けた対策及び現状はどうか
- (4) 農家の後継者対策及び新規就農者支援の状況はどうか
- (5) 自然災害で被害を受けた農業用ため池や用水路の改修状況はどうか

## 8 若者の地元定着について

- (1) 企業、生徒や学生及び学校側が情報を共有できるようにするための取り組みはどうか
- (2) 新卒者の市内企業への就職促進に向けた施策の状況及び課題はどうか
- (3) 若者の早期離職の抑制に、どのように取り組んでいるのか



## 1 市長の政治姿勢について

- (1) これまでの3期12年における実績の評価と、4期目に向けたビジョンはどうか
- (2) 先行きが見通せないコロナ禍の中、令和3年度当初予算の特徴は何か
- (3) 令和3年度予算編成方針では、戦略事業以外の政策経費のうち部局枠配分を前年度一般財源ベースで削減率20%としているが、どの程度の予算が削減され、戦略事業等に重点配分された結果、どのような効果があったのか
- (4) これまで本市は、中心市街地を核として、豊かで住みよいまちづくりを目指してきたが、国立社会保障・人口問題研究所が平成30年3月に発表した日本の地域別将来推計人口によると、2040年の本市の推計人口は244,726人となり、人口減少がさらに進むものと推測されることから、より一層中心市街地の活性化とコンパクトシティの推進を図り、より持続的なまちづくりを目指すべきではないか

## 2 コロナ禍における地域経済及び福祉・医療体制について

- (1) 令和2年度に市が実施した地域経済対策について、支援対象者等から寄せられた意見などから、成果と課題をどのように総括しているのか、また、それらを踏まえ令和3年度はどのような対策を講じていくのか
- (2) 高齢者を中心とした外出控え等によるコミュニケーション不足の影響について現状を把握しているのか、また、それに対してどのような取り組みを行っているのか
- (3) 障がい者施設入所者及び在宅障がい者への新型コロナウイルス感染症の影響について、どのように認識し対応していくのか

## 3 新型コロナウイルス感染症に係るワクチン接種について

- (1) 市内医療機関が通常診療を行っている中で、医師、薬剤師、看護師等の人員及び接種会場は十分に確保されるのか
- (2) 今般の新型コロナウイルス感染症への対策は全庁を挙げて取り組むべきであるが、接種に当たっては、例えば専門職である保健師や看護師等を動員して対応すべきと思うがどうか

#### 4 季節性インフルエンザワクチン接種に対する助成について

- (1) 季節性インフルエンザの発病や重症化を予防し、医療機関の負担軽減を図るため、乳幼児から中学生までの同ワクチン接種に対しては令和2年度に限定することなく継続して助成すべきではないか
- (2) 次の世代を担う子供たちのために、また、子供を安心して生み育てやすい環境の整備のためにも、妊婦への同ワクチン接種に対して助成を行うべきではないか

#### 5 地域おこし協力隊について

- (1) 現隊員の活動内容及び成果並びに元隊員の現在の活動をどうとらえているのか、また、今後、どのような考え方で隊員を採用していくのか
- (2) 他市町村の地域おこし協力隊の活動内容について、本市でも参考となる事例などはあったのか

#### 6 国際教養大学との連携について

- (1) 国際教養大学と県内8市町村が協定等に基づく交流を行っているが、本市ではなぜ行っていないのか
- (2) 国際教養大学とは、職員派遣等を含めて交流を深め、その連携をさらに強化していくべきと思うがどうか
- (3) 国際教養大学の学生が、中心市街地にアクセスする交通手段の確保について、現状をどう認識しているのか、また、中心市街地の活性化や市民との交流促進、関係人口の増加などの面で効果が大きいと考えることから、学生が中心市街地にアクセスしやすい環境を支援しては

どうか

## 7 新スタジアム整備について

- (1) 新スタジアム整備構想策定協議会で検討された経済効果は、秋田県産業連関表に基づき算出されており、直接効果に建設費全額を計上しているが、県内自給率などを考慮した上で費用対効果の推計を行うなど、さらに適切な経済効果を試算する必要があるのではないか
- (2) 新スタジアムの整備によって生ずる、経済効果以外の社会的効果をどのようにとらえているのか

## 8 脱炭素社会の推進について

- (1) 本市における地球温暖化対策の取り組みについて現状はどうか、また、脱炭素社会の実現に向けて今後どのような取り組みを行っていくのか
- (2) 外旭川地区を本市のまちづくりにおける脱炭素社会のモデル地区として先進的に取り組んではどうか

## 9 今冬の除排雪について

- (1) このたびの豪雪を受け、道路除排雪対策本部の体制等で強化した点は何か
- (2) 除排雪業務において、道路除排雪対策本部、各市民サービスセンター、地域情報員及びコールセンターとの連携は、どのように図られているのか、また、コールセンターにおける市民からの要望の収集体制をどのように評価・検証しているのか
- (3) 今後、排雪に関する研究・検討もさらに必要と考えるが、現状と課題をどのようにとらえているのか
- (4) 積雪期における路線バスの運行確保や運行状況の情報提供に関するバス事業者との連携について、どのように考えているのか





## 1 コロナ禍における市長の政治姿勢について

- (1) 新型コロナウイルス感染症のパンデミックが発生したことに対する国の対応について、どのように考えているのか、また、これまでの経済活動や社会のあり方を改めて見詰め直すことが求められていると思うがどうか

## 2 行財政運営について

- (1) コロナ禍により厳しい財政状況となっているが、今後の見通しはどうか、また、将来にわたって財政負担となる事業について見直しを行うべきではないか
- (2) 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の活用について、すべての市民に十分な支援が行き届いていると考えているのか

## 3 デジタル化の推進について

- (1) 市民にとって各種行政手続などの利便性が増す一方、障がい者や高齢者など利活用できない方も想定されるが、デジタル化移行後も、窓口の相對サービスは削減するべきではないと考えるがどうか
- (2) 政府が進めるデジタル化の推進は、自治体の自立性が損なわれると思うがどうか、また、地方自治法で規定する「住民の福祉の増進」の後退につながるおそれはないのか

## 4 新型コロナウイルス感染症等について

- (1) 感染者を出さない、ふやさないための対策について
  - ア これまで以上に検査を実施することにより、無症状の感染者を早期に発見し、適切な対応をするべきと考えるがどうか
  - イ 高齢者施設及び保育所等の職員への定期的な検査のほか、感染に不安を抱える高齢者や基礎疾患を持つ方に自己負担なしで検査を受けられるようにするべきと考えるがどうか

ウ 濃厚接触者の範囲を狭めることなく、追跡調査を引き続き行うべきと考えるがどうか

エ 市民に新型コロナウイルスの特性及び同感染症防止対策について、わかりやすく周知する必要があると考えるがどうか

(2) 体制の強化等について

ア 保健所では、感染者及び感染ルートの追跡調査のほか、検体の搬送業務により、今後、業務量の増加が見込まれることから、通常業務に支障が生じないよう職員を増員するべきではないか

イ 感染拡大に備え、感染者が一人も治療体制から外れることのないよう、県と連携して医療機関と協議するべきと考えるがどうか

(3) 市立秋田総合病院でのクラスターの発生について

ア 感染が拡大した要因をどのようにとらえているのか、また、同病院の感染管理体制についてどのように評価しているのか

イ 同病院に対し、本市は今後どのような指導を行っていくのか

ウ 同病院の設置者として市民への説明責任を果たすべきではないか

(4) 地域産業及び市民生活への支援等について

ア 新型コロナウイルス感染症対策地域産業支援事業の成果をどのようにとらえているのか、また、同事業の成果を踏まえ、今後、どのような支援を行っていくのか

イ 秋田市社会福祉協議会やNPO法人などの団体と連携し、学生や貧困世帯に食料品や日用品などの支援物資の提供を行うべきと考えるがどうか

ウ 同感染症に係る国民健康保険税の減免について、国の財政支援にかかわらず市独自に来年度も実施する考えはないか

エ 生活保護申請者の扶養照会は義務ではないと国会で答弁したとの報道があったが、本市もそのことを基本として申請者に対応するべきではないか

(5) ワクチン接種について

ア 本市でワクチン接種を行うに当たり、一番の課題は何か

イ ワクチン接種に関する相談内容は多岐にわたり、相談件数も多数

想定されるが、市民の不安を解消するための体制をどのように整備するのか

ウ 新型コロナウイルスワクチン接種対策チームを設置したが、短期間で多岐にわたる業務を遂行する必要があることから、増員を図るべきではないか

## 5 新スタジアム建設等について

(1) 運営主体、建設費、資金調達、経済的効果及び社会的効果について市民に明確に示すべきではないか

(2) 建設により、少子高齢化や人口減少など本市が抱える課題解決につながると考える具体的な根拠は何か

(3) 新スタジアムはプロスポーツ専用の施設となるのか

(4) 民設民営を基本とし、行政として新スタジアム建設に対する支援のあり方を検討すべきと考えるがどうか

(5) 市民の合意形成を図るためにも、行政としてプロスポーツの支援のあり方についての検討が再度必要であり、拙速に進めるべきではないと考えるがどうか

## 6 秋田市卸売市場について

(1) 秋田市卸売市場経営改革プラン行動計画について

ア 市場機能の強化等に取り組むとしているが、その具体は何か

イ 安心・安全な生鮮食料品等の安定供給を維持していくための具体的な取り組みと今後の戦略はどうか

(2) 再整備について

ア 施設の規模について、本市と市場内事業者との間で考え方に乖離があるが、同事業者の意向をどのようにとらえているのか

イ 再整備後の敷地・施設規模の目安を現有施設の65%としているが、今後の事業展開を見据え、余剰地を確保しておく必要があると思うがどうか

7 エイジフレンドリーシティ構想について

- (1) 全国に先駆けて同構想を掲げた理由は何か、また、第2次秋田市エイジフレンドリーシティ行動計画における各施策の目標達成状況及び達成に向けた課題をどのように認識しているのか
- (2) 市民が同構想を受け、他都市と比較してすぐれていると感じられる点は何か

8 高齢者が安心できる生活環境の実現等について

(1) 住環境の整備について

- ア 単身用市営住宅の入居対象住宅を拡充し、単身世帯の入居を推進するべきではないか
- イ 草取りなど日常生活上の軽易な作業の援助を行う高齢者軽度生活援助事業を再度実施し、居住環境の充実を図るべきではないか
- ウ 特別養護老人ホームの建設を計画的に進めるべきではないか、また、その財源については国に支援を求めるべきと考えるがどうか

(2) 日常生活に支障を来すことのないよう、加齢による難聴者への補聴器購入の補助を行う考えはないか

(3) 死亡に伴う各種行政手続について、ワンストップ窓口を設置するべきではないか

9 だれもが自分らしく生きられる社会について

(1) 第5次秋田市男女共生社会への市民行動計画について

ア 同計画における4つの基本目標の達成状況はどうか、また、目標達成に向けた課題は何か

イ 同計画に基づく男女共生社会の実現について、市民意識は醸成されていると考えているのか、また、さらに市民意識を高めるための取り組み等が必要ではないか

ウ 市職員の女性管理職の登用率及び審議会等における女性の公職参画率の向上を図るため、今後どのような取り組みを行っていくのか

エ 市内企業における女性管理職の登用率の向上を図るため、どのよ

うな働きかけを行っていくのか

(2) 性的少数者の権利を保障するため、同性パートナーシップ制度を早期に導入するべきと考えるがどうか

(3) 選択的夫婦別氏制度を導入するため、民法を改正するよう国に働きかける考えはないか



1 市長の政治姿勢について

- (1) これまでの3期12年の市政を振り返り、みずからどう総括するのか
- (2) 市立秋田総合病院の医療従事者及び本市の保健所職員に対する処遇改善を含めた財政支援や労働環境の整備について、市長の見解はどうか
- (3) 介護・障がい福祉現場において、継続してサービスを提供できるよう介護従事者等への最大限の支援が必要と考えるが、市長の見解はどうか
- (4) 新型コロナウイルス感染症は、軽症や無症状であっても症状が急変し、重症化するケースがあることから、血中酸素濃度を測るパルスオキシメーターの活用推進に加え、適切な使い方を徹底し、体調の悪化などを迅速に把握する仕組みを厳格化するとともに、体調の変化に応じて医療機関と確実につながる体制を早急に構築すべきであり、助かる命を救うために、国と地方自治体双方がこうした課題と責任を共有し、協力して取り組むべきと考えるがどうか

2 財政について

- (1) 令和3年度当初予算案は、令和2年度決算をどのように見込み、新年度予算にどう反映したのか
- (2) 新型コロナウイルス感染症等の影響により、本市を取り巻く歳入環境の好転が見込まれない中、令和3年度当初予算案で示した創生戦略及びその他事業を着実に推進するために、本市の主要2基金である財政調整基金及び減債基金をどのような考えに基づき取り崩しているのか、また、残高は適切であると考えているのか
- (3) 本市の中・長期財政収支をどのように見通し、健全で持続可能な財政構造をどう構築していくのか
- (4) 公共施設等整備基金及び公共交通活性化基金は、持続可能で豊かな市民生活の実現を目指す本市の取り組みに必要な不可欠な財源を確保す

るための役割を担っており、今後ますますその重要性が増してくるものと想定されるが、両基金の将来見通しをどう考えているのか

### 3 新型コロナウイルス感染症に係るワクチン接種について

- (1) 本市におけるワクチン接種を担う医師や看護師など医療関係スタッフ等の人材確保及び実施場所の選定について、どのように進めているのか、また、人件費、会場費、ワクチンの輸送費、保管などの態勢整備に係る財源について、どのように考えているのか
- (2) 「限られた時間の中でより多くの人々に円滑に接種する」ためには、計画的かつ効率的なワクチンの保管・管理体制、輸送体制及び円滑な接種体制の整備が必要不可欠であり、国、県、市、医師会等の綿密な連携が必要になるが、万全な接種体制の整備を具体的にどのように進めていくのか、また、現段階における準備の進捗状況と課題は何か
- (3) バス路線から遠く離れた地域に居住している方、重い障がいのある方、寝たきりの方など、自力でワクチン接種場所に行くことが困難な方々は本市に多くいると想定されるが、その対応についてどのように考えているのか、また、その対象者を把握しているのか
- (4) これまで経験したことのない取り組みであるため、市民からワクチン接種に関するさまざまな疑問や意見等が寄せられ、迅速かつ丁寧な対応が求められると想定されるほか、接種後の体調の変化が生じた場合などに係る問い合わせ等に対応するための相談体制の構築が不可欠と考えるが、ワクチン接種に関する相談体制の必要性についてどう考えているのか
- (5) ワクチン接種に当たっては、居住地の市町村が発行する接種券を受け取り、予約した上で接種会場に出向く集団接種による実施を考えているとのことであるが、接種を希望しても居住地での予約ができない場合や予約の日時に急に都合がつかなくなる場合などのイレギュラーなケースに対してどのように対応するのか

### 4 すべての子供たちの可能性を引き出す教育の実現について



(1) 今後は、教員の働き方改革や英語の専科教員、ICT支援員の配置などを通じて、教員の質を確保しつつ、小学校35人学級を段階的に進めながら、中学校も含めた30人学級の実現を目指していくべきと思うが、ICTの活用と少人数学級を両輪として、すべての子供たちの可能性を引き出す個別最適な学びと協働的な学びの実現に向けて、どのような考えのもとで取り組んでいくのか

## 5 古川及び猿田川流域の治水対策について

(1) 国、県、市によるそれぞれの施設の役割分担と整備スケジュールが示されてから1年以上が経過し、この間にコロナ禍や自然災害の発生などさまざまな社会的変化があったが、事業の財源確保や整備スケジュール等に与える影響はあるのか

(2) 猿田川から古川へのバックウオーター現象を防ぐため、両河川の合流点に樋門を整備するとしているが、整備完了後、バックウオーター現象による古川への逆流が発生しなくなる分、猿田川を流れる水量の増加が想定され、新たな箇所での浸水被害の発生が懸念されるが、その対策についてどのように考えているのか

(3) 古川には3カ所に危機管理型水位計が配置されたが、正確な情報をより多くの住民により早く伝達するために、水位計と避難警報装置等を連携させるシステムの構築や防災ラジオ等を含め複合的な情報伝達手段を活用し、災害時の情報伝達手段の多様化を図るなど、住民が災害発生の危険度を直感的に理解し、速やかな避難行動ができるようにする必要があると考えるが、危機管理型水位計について、これまでどのように周知してきたのか、また、どのような活用を考えているのか

(4) 本市が作成した河川からの洪水、いわゆる外水はんらんを想定したハザードマップの内容だけでは、内水はんらんによる浸水被害発生時の状態とは異なる場合が多く、避難を含めた地域住民の防災対策を考える上で、外水及び内水のはんらんを想定した総合的なハザードマップが必要と考えるがどうか

(5) 排水機場Ⅰ、排水機場Ⅱ、猿田川樋門及び排水機場樋門の各施設を

連携させ一元的に管理し、その操作制御を行う施設が必要となるほか、古川排水樋門を閉鎖した場合、排水ポンプ車を必要なときにすぐに稼働させることができる近場の格納施設の整備や南部地域全体の防災に必要な資機材などを常備しておく施設等も必要であると考えているがどうか

- (6) 本市が豪雨に見舞われるときは、気象状態も不安定であり、長時間電力供給が途絶える事態も想定しておく必要があるが、各施設の電力供給が途絶えた場合の対策についてどのように考え、今後の設計にどう反映させるのか